

関西近辺で手軽に楽しく行ける、温泉や銭湯を紹介します。この冬、寒さで縮こまった体を温めて行ってみませんか。

冬物語

関大人の



兵庫県神戸市
「天然湧湯
吟湯 湯治聚落」

癒してくれる湯加減

高校生の頃、陸上部の練習帰りに、父と一緒に温泉や銭湯に行っていました。体を動かした後の温泉はとても気持ち良く、この頃から温泉好きになりました。最近よく行く温泉は神戸市にある「吟湯 湯治聚落」です。探検部で登山した後に、各地のいろいろな温泉を訪れました。有名な温泉にも行きましたが、お客さんが多かったり、湯の温度が熱すぎてゆっくりぬくことができずでした。ここの温泉の湯加減は、登山後の体温が上がった体にもちょうど良く、特に炭酸泉の露天風呂が気に入っています。開放感があって気持ちが良く、体の芯から温まります。先日は、六甲山登山の帰りに立ち寄り、登山の疲れが取れました。

文学部 2年次生
小藪 一輝さん
(文化会 探検部)



大阪府岸和田市
「天然温泉
だんじり湯」

温泉

だんじりと

温泉とお祭りが好きです。自宅が城下町で有名な大阪府岸和田市ですので、小さい頃からだんじり祭りに参加しています。だんじりの後ろについて一緒に走るのです。そうして汗を流した後、自宅から車で10分のところにある、お気に入りの「天然温泉 だんじり湯」につかると疲れが取れます。だんじりが屋根に乗った瓦びきの建物で、内装もだんじり一色ですから、なんともうれしい温泉です。源泉は地下1キロで、毎分550リットル湧き出る、ナトリウム-塩化物・炭酸水素塩の豊富な温泉だそうです。愛媛県西条市の祭りに出かけるのも、みこしやだんじりなど150台が出る大規模な祭りがあるからです。行けば必ず近くの温泉につかって帰ります。

文学研究科 M1
辻井 花歩さん



愛媛県松山市
「道後温泉」

万葉集から

坊っちゃんまで

小さい頃から家族で各地の温泉に行っていたので、いつの間にか温泉好きになりました。2015年の秋には富山にいる父母と箱根温泉で合流し、親子で温泉につかりました。8月下旬に出かけた道後温泉では、1,500円の個室を奮発して1時間20分ほど楽しみました。ここは日本三古湯の一つといわれ、『万葉集』にも出てきますし、夏目漱石の『坊っちゃん』にも登場します。共同湯は道後温泉本館と榎の湯の2カ所です。前者は観光客中心で、後者は地元客の利用が中心です。また11月初めには別府にも行って市営の温泉につかりました。シャワー設備はありませんが80年近い歴史のある建物で、客の半分は地元の方々。風情のある温泉を毎日楽しむ方もいました。

政策創造学部 4年次生
秋山 高志さん



京都府京都市
「船岡温泉」

非日常を味わえる
レトロな銭湯

銭湯の魅力は、温泉に行くような気持ちで、手軽にお安く非日常を味わえるところです。京都の千本鞍馬口近くにある「船岡温泉」は、一見旅館のような門構えの京都らしい風情ある銭湯で、国の有形文化財にも指定されています。檜風呂や露天風呂など、いろいろな風呂が楽しめるのに加えて、脱衣所と浴室の間の渡り廊下には色鮮やかなマジリカ風タイルが施されていたり、脱衣所には欄間があったり、日本の銭湯文化が随所に見られるところに魅力を感じます。また、近くには昔の銭湯をカフェに改装した「さらさ西陣」やあぶり餅で有名な「今宮神社」があるので、学生の皆さんには京都の町とおいしい物と一緒に楽しんでもらえたらいいですね。

政策創造学部
杉浦 勉 准教授
(教員組合 銭湯文化同好会)



大阪府大阪市
「街の湯治場
上方温泉 一休」

練習後の疲労を和らげ、
友人との時間ももてる場所

自宅から自転車に乗って約10分の場所にある「一休」には、地元の友人と一緒に月に2、3回行きます。露天風呂や陶器風呂などいろいろな温泉があり、なかでも広々としている大浴場が気に入っています。アメリカンフットボールを始めて13年目になりますが、大学生になってからの練習が一番ハードです。私の場合、入学時から体重を20kg近く増やす必要があり、知らぬ間に足腰に負担がかかるので、練習の疲れをしっかり取って、柔軟性を高めることがけがの予防につながります。授業と練習で忙しく、友人と遊ぶ時間がなかなかないため、温泉と一緒に行くようになりました。温泉に入ると気分もリフレッシュし、友人との会話も弾みます。ぬくもりながらのストレッチや温冷交替浴をすることで、疲労の回復が実感できます。

人間健康学部 4年次生
佐嶋 優輔さん
(体育会 アメリカンフットボール部)

